

1.2.2 工事の推移と現況

1) 工事量の全体推移

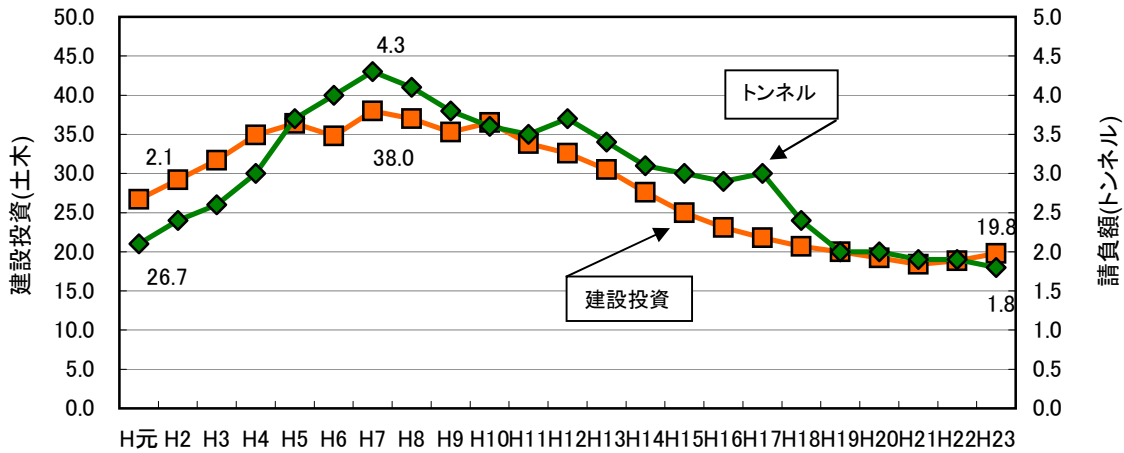


図-1 建設投資と請負額の推移 (単位:兆円)

建設投資(土木); 出典; 国交省「平成22年度建設投資見通し」名目値、H21~23は見込み値

以下に示す推移は、前掲の一覧表をグラフ化したものである。

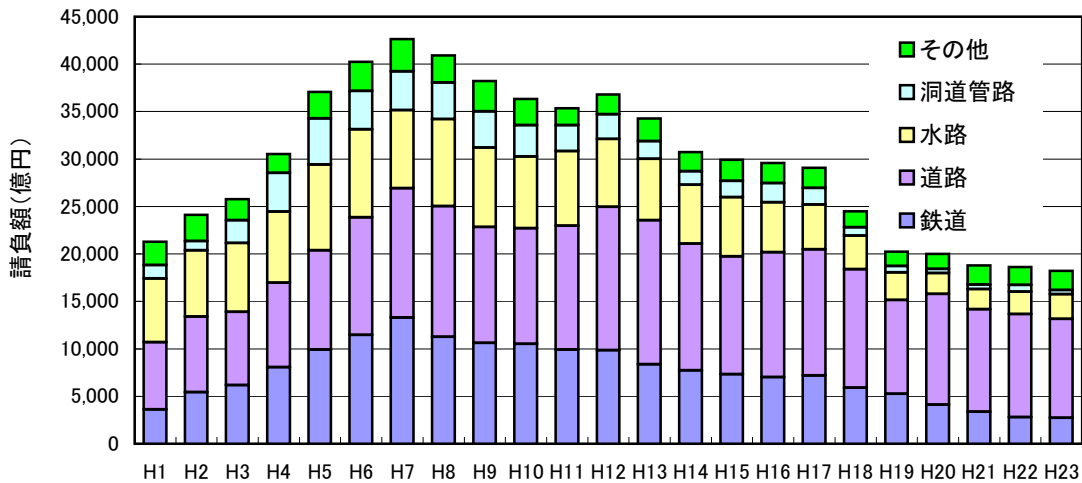


図-2 国内の工事量-請負額-の推移(地下街を除く)

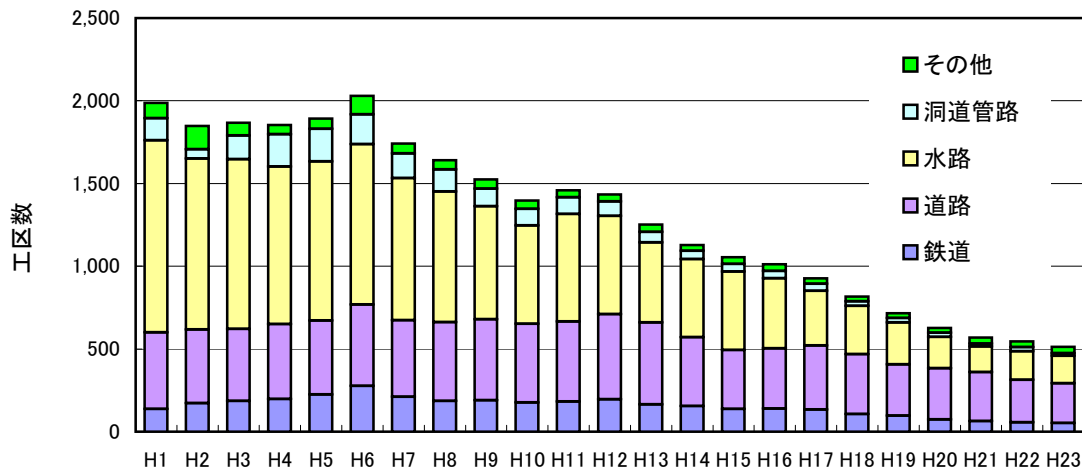


図-3 国内の工事量-工区数-の推移(地下街を除く)

2) 用途別工事量の推移

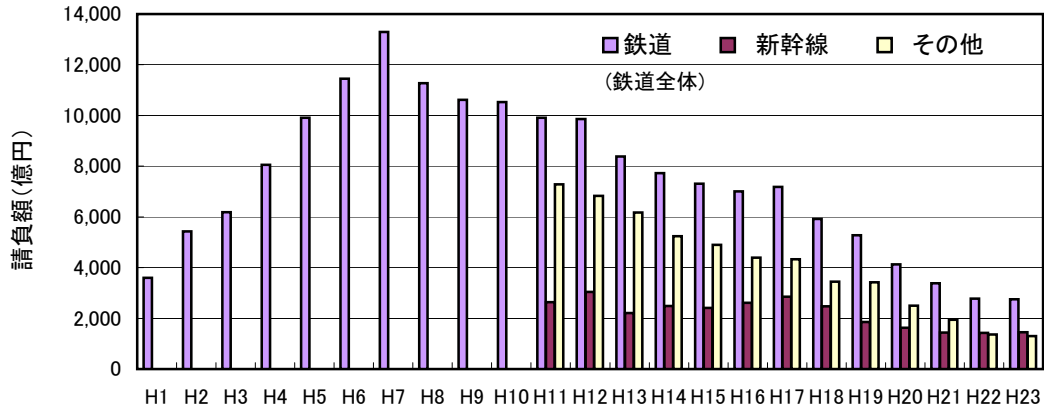


図-4 鉄道トンネルの推移

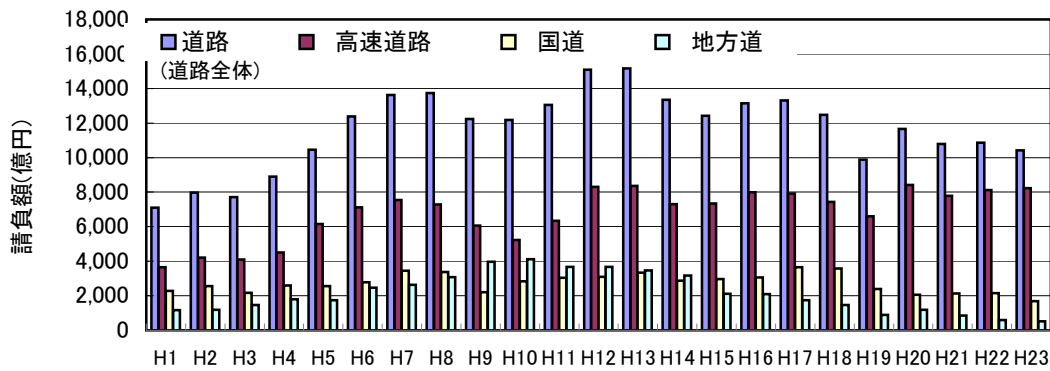


図-5 道路トンネルの推移

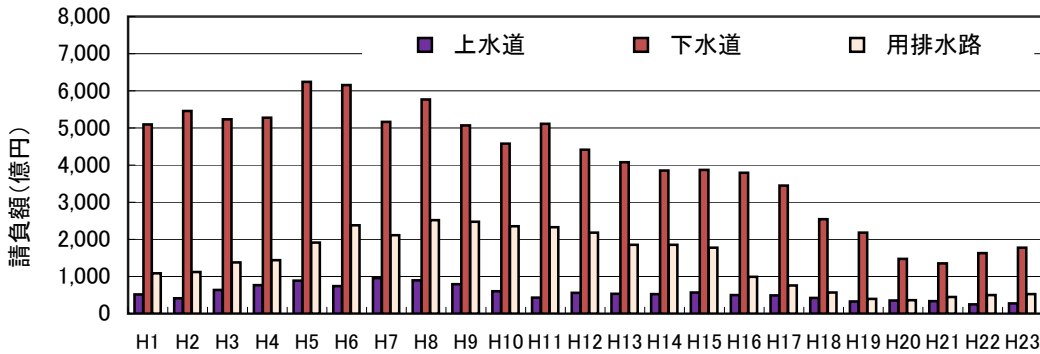


図-6 水路トンネルの推移

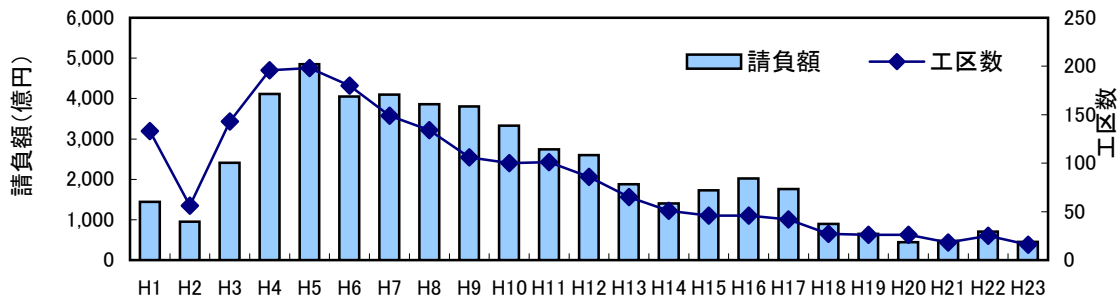


図-7 洞道管路の推移(専用洞道管路、共同溝等)

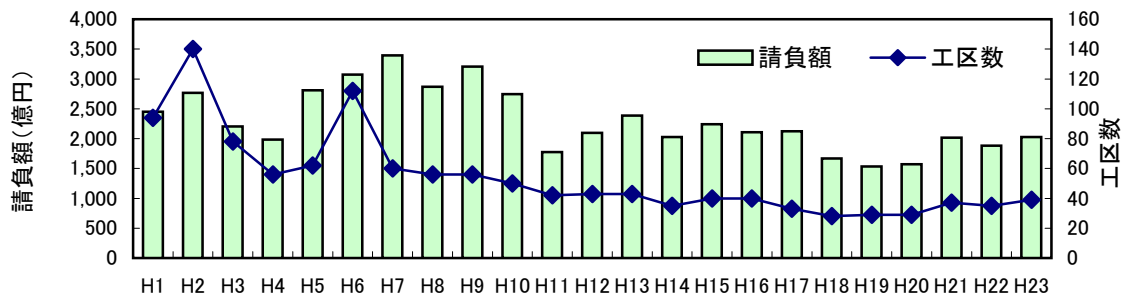


図-8 その他の推移(地下発関連、その他)

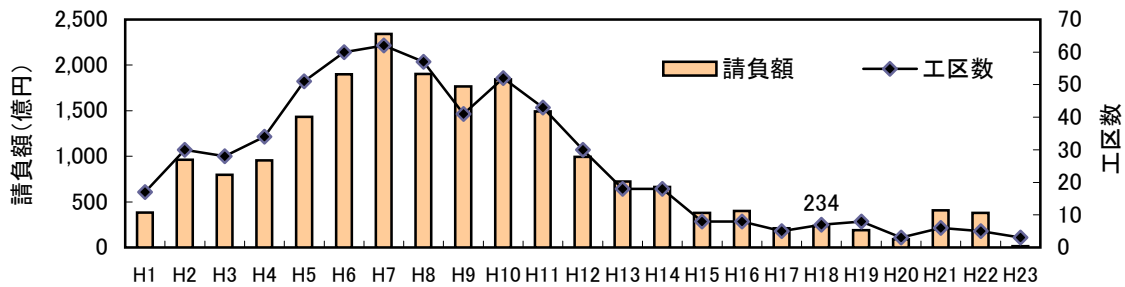


図-9 地下街・地下駐車場等工事の推移

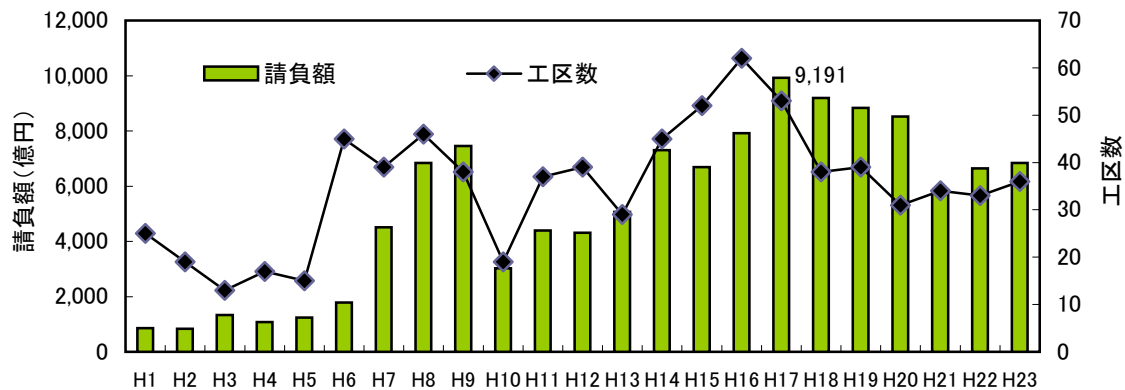


図-11 海外工事の推移

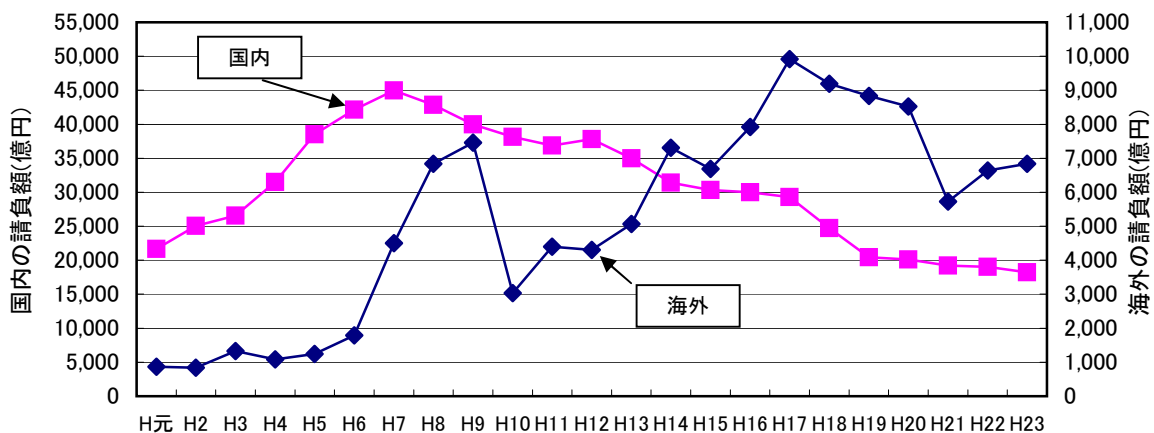


図-11 国内請負額と海外請負額の推移

3) 施工中のトンネル現況(2011.12.1現在)

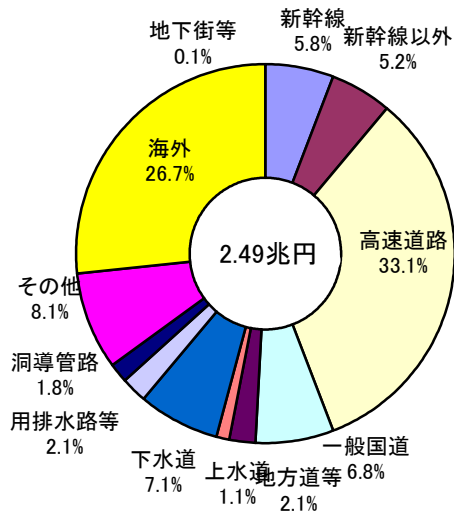


図-12 請負額の比率

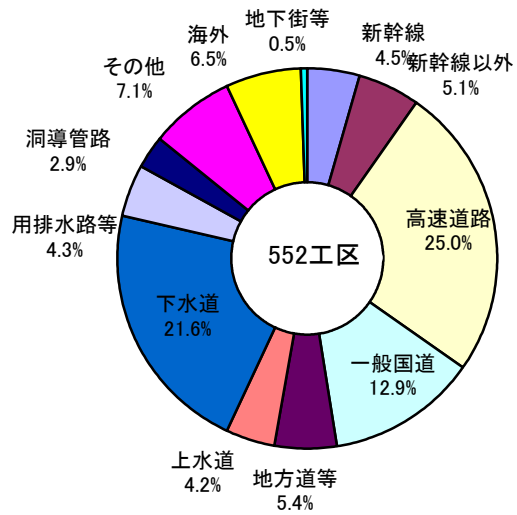


図-13 工区数の比率

以下は国内におけるトンネル工事(地下街等を除く)の現況である。

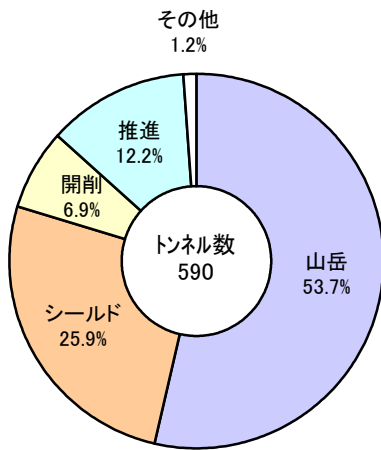


図-14 施工法別比率(トンネル数比較)

※トンネル数とは
1工区内にあるトンネル
の数をできるだけ抽出
した数を示したもので
ある。以下同じ。
(工区数<トンネル数)

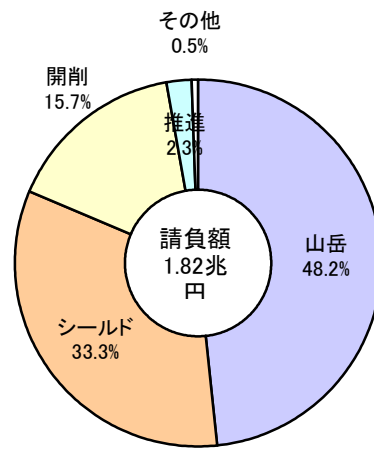


図-15 施工法別比率(請負額比較)

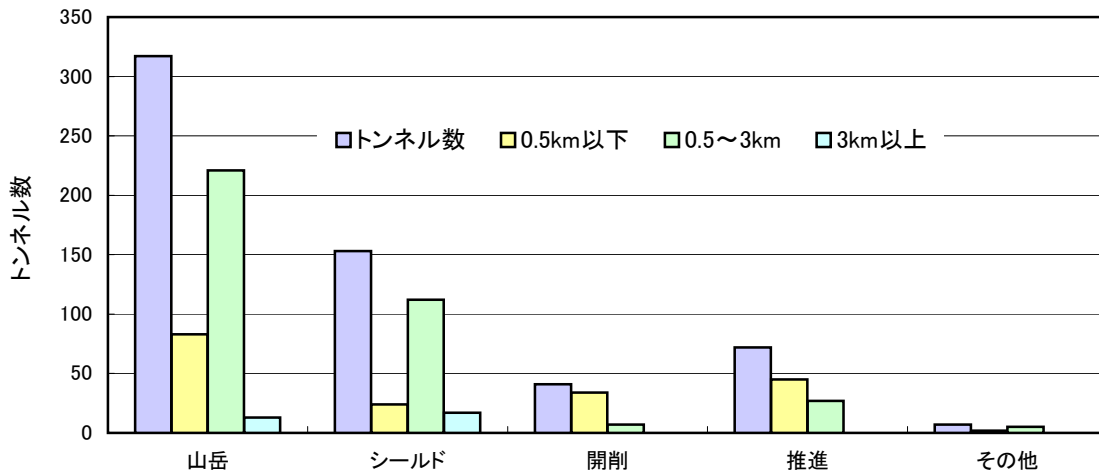


図-16 施工法と契約延長

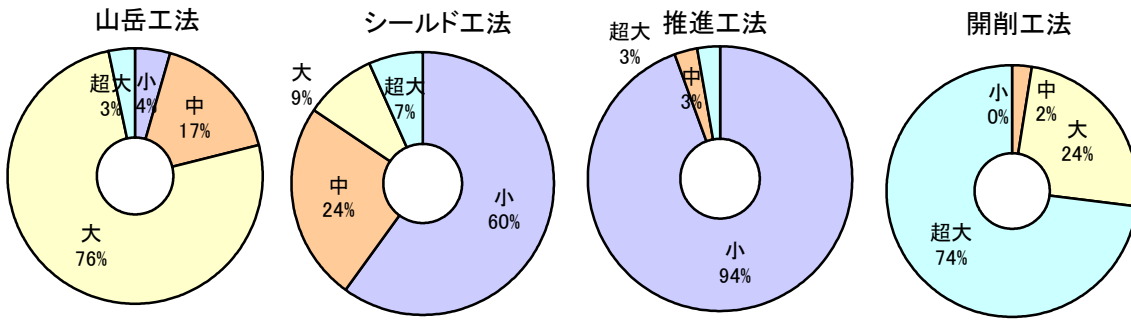


図-17 施工法毎内空断面積比率
 小:10m²未満、中:10m²以上50m²未満、大:50m²以上100m²未満、超大:100m²以上

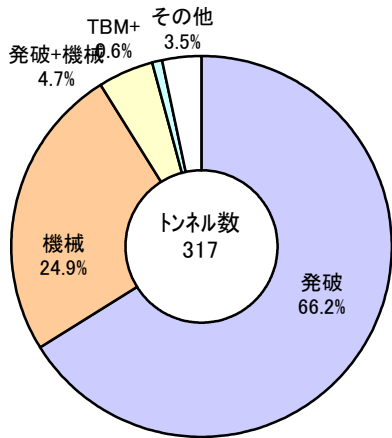


図-18 山岳工法の掘削方式の比率

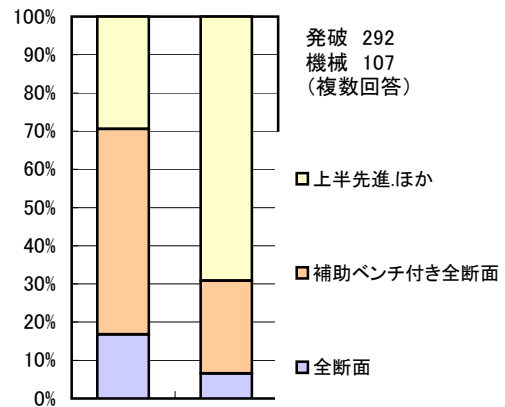


図-19 発破と機械の掘削方式と加背割

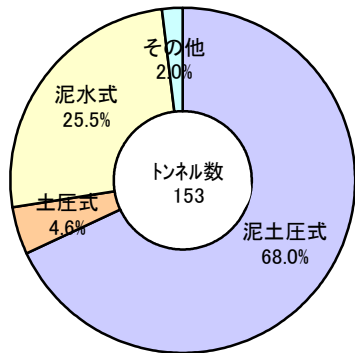


図-207 シールド工法の形式比率

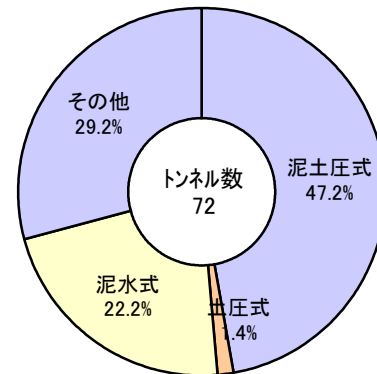


図-21 推進工法の形式比率

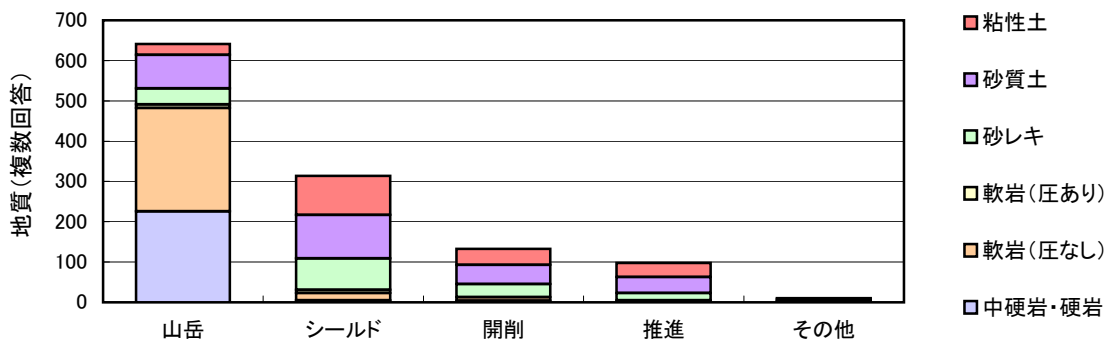


図-22 掘削工法と地質(重複回答)

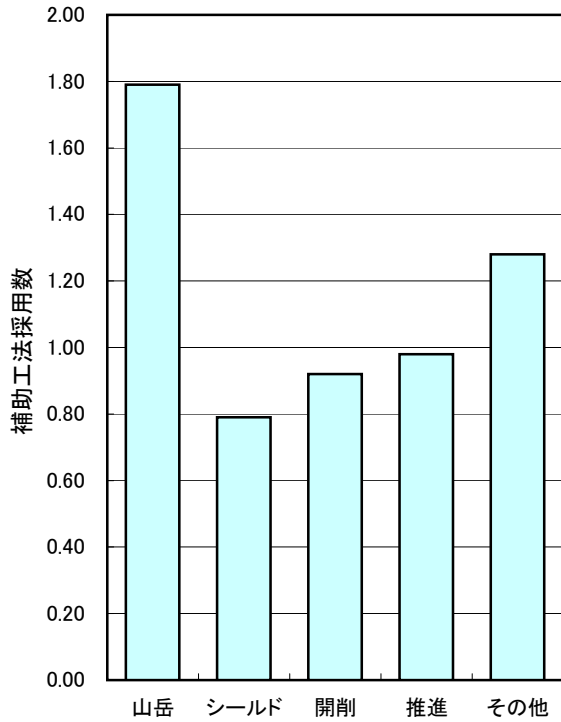


図-23 施工法と補助工法の採用数
(採用数=重複回答の補助工法の数/トンネル数)

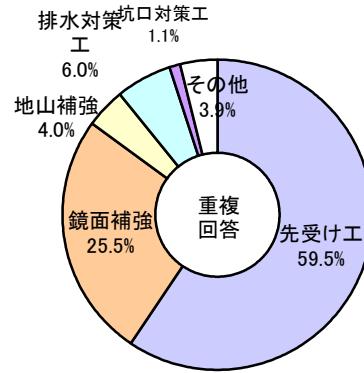


図-24 山岳工法における補助工法

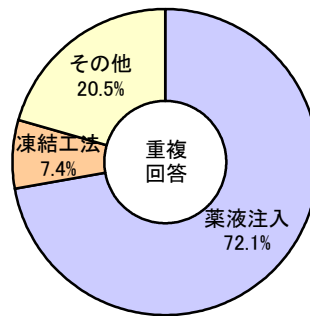


図-25 シールド工法における補助工法

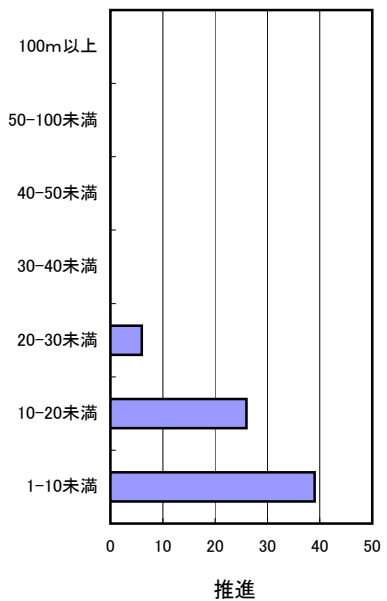
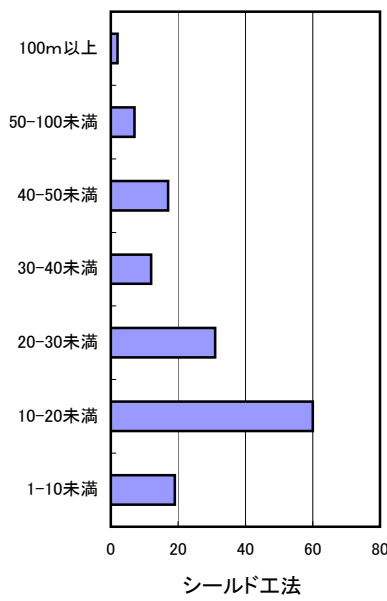
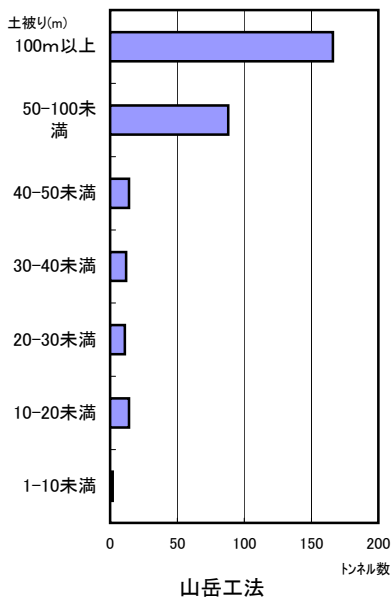


図-26 施工法と土被り